

はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和4年1月7日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子
<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。



一人一人が輝く一年に



年末からの大雪で一面銀世界が広がる中、2022(令和4)年を迎えました。年末年始の様々な行事も除雪作業をしながら行われたのではないのでしょうか。また、感染者数が少なくなったとはいえ、新たにオミクロン株の流行の兆しもあり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密に気を付けながらのお正月だったことと思います。今年も対策を取りながら、子どもたちの学びの場の充実を図っていきます。どうぞ、ご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

今年寅年。干支は「虎」ではなく「寅」と書きますが、この文字には「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味があるそうで、中国の「漢書」では、「寅」は草木が伸び始める状態を表すと解釈されているそうです。子どもたち一人一人が伸び、成長し、輝く一年にしたいものです。

今日から3学期。今学期は50日ととても短いですが、一年のまとめの時期であるとともに次の学年に向けた準備期間でもあります。特に6年生は中学校進学に向け、小学校生活の総まとめと中学校への心構えをしっかりと持たなければなりません。そして、5年生は最高学年としての役割が始まります。もちろん、1年生から4年生も次の学年に向けてそれぞれが目当てを持って進んでいきます。先日、新春恒例の箱根駅伝で優勝をした青山学院大学の原監督が「選手たちの『自律』が成長の鍵である」と話しているのをテレビで見ました。「今の自分に足りないものは何なのか、目標とするものは何なのか。それを学生自らが考えて実行することができる、だからこそ青学はここまで強いチームになれたのだ」と。本校の子どもたちにも同じことが言えるはずです。子どもたち一人一人が、目当てを達成するために「今、何をすべきなのか」「どうしたらできるのか」を考え、行動することができるよう、そしてその「自律」した行動で、次学年に向けて成長し、一人一人が輝くことができる力を付けられるように教職員一同、ともに支えていきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様もともに子どもたちの成長を支えていただきますよう、お願い申し上げます。

校長 小森昌子

今年も 登下校の見守りをよろしく願いいたします。

地域の皆様、PTAの皆様には、いつも子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございます。昨年同様、今年もどうぞよろしく願いいたします。



今冬はこれからも雪の日が多くなるようです。積雪時には、車道が狭くなり、歩道も大変歩きにくくなるのが予想されます。子どもたちの安全な登下校のため、できる範囲で通学路の除雪をお世話になれるとありがたいです。どうぞ、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

